

# 読響

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

モーツァルト：  
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

ロドリゴ：「アランフェス協奏曲」

ムソルグスキー(ラヴェル編)：  
組曲「展覧会の絵」

読売日本交響楽団  
多摩市民感謝コンサート

胸いっぱい幸福感。  
哀愁のメロディと  
輝かしいサウンド！

## アランフェス & 展覧会の絵

卓越した技巧と音楽性を持ち  
世界的に活躍する実力派

ギター= **村治佳織**

Guitar: Kaori Muraji

マルチな才能で活躍し、  
注目を浴びる新時代の旗手

指揮= **鈴木優人**

Conductor: Masato Suzuki

2018 **10/6(土)** 15:00開演

**パルテノン多摩 大ホール**

(京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター」駅下車 徒歩5分)

多摩市民 (在住、在勤、在学)

アテナ ¥3,000

一般 ¥4,800

高校生以下 ¥1,000

7/8日  
10:00~  
発売

7/15日  
10:00~  
発売

お申し込み  
お問い合わせ

**チケットパルテノン 042-376-8181** (10時~18時/休館日を除く)

<http://www.parthenon.or.jp/>

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/> チケットぴあ 0570-02-9999

※アテナ会員・多摩市民(在住、在勤、在学)、高校生以下券の取り扱い、チケットパルテノン(窓口、電話、インターネット)のみ。

※読響会員の「振替制度」などの特典はご利用いただけません。読響会員は、1割引でご求めいただけます。

※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。※都合により曲目・出演者等が一部変更される場合があります。※料金は消費税を含んでいます。

主催：公益財団法人多摩市文化振興財団、公益財団法人読売日本交響楽団、読売新聞社

©Marco Borggreve

©Ayako Yamamoto



## 鈴木優人(指揮)



マルチな才能で時代を切り拓く気鋭のアーティスト。1981年オランダ生まれ。東京藝術大学作曲科を経て同大学院古楽器科修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。鍵盤奏者(チェンバロ、オルガン、ピアノ)として国内外で活躍するほか、指揮者としてバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)、読響などと共演。音楽監督を務めるアンサンブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開。昨年8月読響を振った〈三大交響曲〉で絶賛され、11月にはモンテヴェルディの歌劇「ポッペアの戴冠」を指揮し、高い評価を得た。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサーを務めるほか、作曲家としても活動。NHK・FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演中。  
<http://suzukimasato.com/>

実力と人気を兼ね備えた日本を代表するクラシック・ギタリスト。幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、15歳でCDデビューを飾る。1995年イタリア国立放送響との共演が欧州全土に放送され話題を呼んだ。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。国内外の主要な楽団と共演を重ね、2003年英国の名門レーベルDECCAと専属契約を結び、以後数々のCDをリリース。日本ゴールドディスク大賞などを受賞。04年にフリーベック・デ・ブルゴス指揮の読響とパロモ「アンダルシアのノクターン」を日本初演し、好評を博した。出光音楽賞、村松賞、ホテルオークラ音楽賞など受賞多数。J-WAVEのナビゲーターを務めるほか、テレビやラジオなどに多数出演している。

<http://www.officemuraji.com>

〈読売日本交響楽団パルテノン名曲シリーズ〉〈読響メンバーによる室内楽のしらべ〉がスタートしてから早3年。チケットの完売が相次ぎ毎回沢山のお客様にご来場いただいています。快晴の日も、雨の日も雪の日も、足しげく通ってくださった皆様に感謝の気持ちを込めて、今年も〈多摩市民感謝コンサート〉の開催が決定しました。

指揮台には注目を浴びる期待の新星・鈴木優人が登場します。冒頭には、誰もが愛してやまないモーツァルトの〈アイネ・クライネ・ナハトムジーク〉で明るく開幕します。続いて、テレビやラジオなどでも人気の実力派クラシック・ギタリストの村治佳織が共演。スペイン独特のリズムや哀愁漂う第2楽章が“奇跡の名曲”ともいわれるほど人気の高いロドリゴ〈アランフェス協奏曲〉で温かなメロディを奏でます。後半は、ムソルグスキー作曲／ラヴェル編曲の〈展覧会の絵〉。ロシア的と同時にフランス的な美しさも漂う作品で、まるで鮮やかにして煌びやかな音楽絵巻。オーケストラの魅力を存分にお楽しみいただけます。芸術の秋を彩る極上の演奏をどうぞご堪能ください。

パルテノン多摩大ホールは、大規模改修に備えて12月から使用中止になります。改修前の読響の大ホールでの演奏会は、この10月公演がラストとなります。限定1414名! この歴史に残るステージをお聴き逃しなく。

## 村治佳織(ギター)



©Ayako Yamamoto

## 読売日本交響楽団(管弦楽)

1962年、オーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。2010年4月から常任指揮者をシルヴァン・カンブルランが務め、サントリーホールや東京芸術劇場などで演奏会を多数開催している。昨年はメシアン の歌劇「アッシュの聖フランチェスコ」が評価され、サントリー音楽賞などを受賞。14年のソチ五輪から使用の「君が代」演奏を務める他、慰問コンサートや学校公演など社会貢献活動にも取り組んでいる。パルテノン多摩では16年度から《パルテノン名曲シリーズ》を開催し、完売が相次ぐ人気に。ファミリーコンサートや障がい者招待コンサート、平日昼の室内楽シリーズなども好評を博している。



©読響